

エフバイオス 山林事業

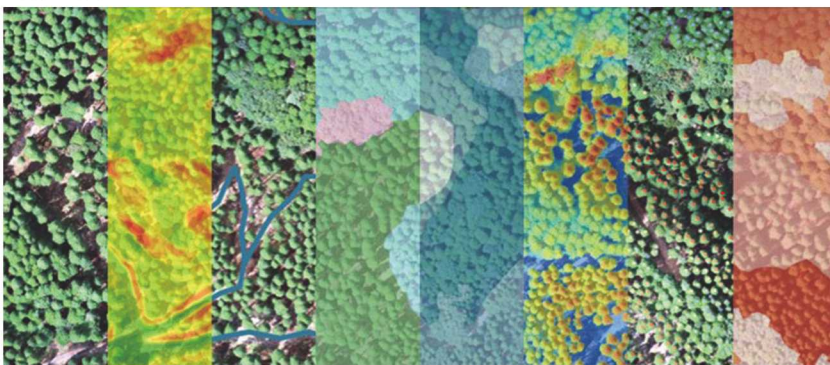
森林は、
未来を描く
資源だと思おう。



森をはかる

「森にはどれくらいの木があるの?」を解明するため、森林の資源量について様々な視点から調査・解析を行っています。わたしたちは森林での現地調査に加え、リモートセンシング技術を活用した広域かつ効率的な資源量調査を実践しています。

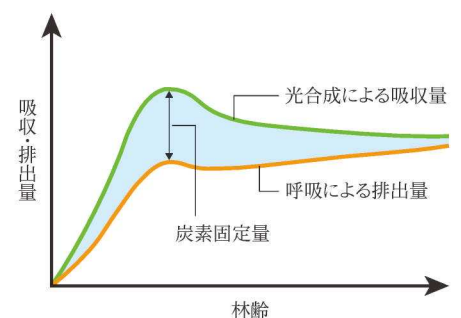
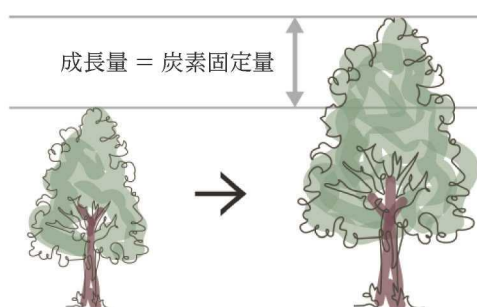
<解析例>



オルソ 傾斜 路網 樹種 林齢 樹高 樹頂点 密度

保有する森林のほぼ全域をドローンにて三次元計測し、深層学習や地理情報システムを用いて解析しています。木の位置や種類・本数・高さ・面積などを算出し、森林の資源量を推定するだけでなく、施業計画の策定や既存の作業道の抽出・新規設計にも活用しています。

木は成長する際、大気中の二酸化炭素を吸収し、幹や根、枝葉に炭素を蓄え、酸素を大気中に放出します。わたしたちは地球環境保全や温暖化防止策のひとつとして、保有する森林を定期的にモニタリングし、森林の成長量から炭素固定量を推定する取り組みを行っています。





森を育てる

わたしたちが目指す姿は「考える木こり」です。森林所有者としての自覚をもち、森林の価値を最大限に高めるため、日々、森と真摯に向き合っています。

具体的には、人力ばかりに頼っていたかつての林業から脱却するため、ヨーロッパ製の高性能林業機械を導入した効率的な施業を実践し、木材の安定供給を目指しています。さらに、GISやクラウドシステムを活用した森林・施業管理を行い、品質向上に努めています。また、林業を次代に継承していくため、森の特性を理解し、技術を正しく使える人材の育成と安全教育にも積極的に取り組んでいます。



導入しているヨーロッパ製の重機



タブレット端末で施業管理



人材育成の様子



自社で育てている苗



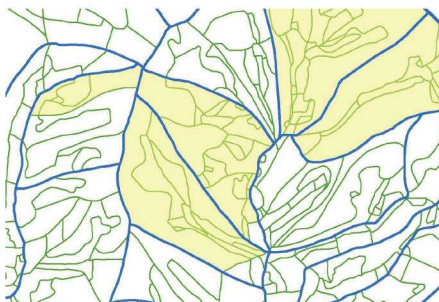
植林の様子

木を伐採し木材を生産するだけでなく、再び森林に戻すために、苗を育て山に植え・育てています。経済林を構成する代表的な樹種であるスギやヒノキだけでなく、適地適木の考えに基づき、広葉樹など多様な樹種を植えることで森林本来の機能を取り戻し、ヒトと森が共生できる環境をつくりたいと考えています。



森をデザインする

森林のデザイン・プランニングを行うフォレスターとなり、長期かつ広域な視点から森づくりを行っています。それだけではなく、木の流通形態を確立した、森林経営のための基盤づくり及び実践を行い、川上(生産)―川中(加工)―川下(流通)のサプライチェーンの構築を目指しています。



森林計画図



山主様と打ち合わせ中



木をつかう

多様化する木材需要に対応するため、生産した木材から付加価値を高めた製品の創造を目指しています。また、これまで価値を見出されずに廃棄されてきた木材をバイオマス発電の燃料となるチップに加工し、暮らしを支えるエネルギーへ転換する事業を行っています。

お問い合わせ

株式会社エフバイオス 山林事業部

〒100-6617 東京都千代田区丸の内一丁目9番2号 グラントウキョウサウスタワー 17階

TEL : 03-4500-6453 FAX : 03-4500-6451